



「食文化ストーリー」創出・発信モデル

柚餅子シンポジウム

～継承・保護・魅力・展望～

中世の時代から伝わる伝統食「柚餅子」。全国に点在する形も味も様々なゆべしの中でも、柚子をくり抜いた「丸柚餅子」に焦点を当て、各地の生産者に聞き取り調査を行いました。柚餅子が辿ってきた歴史に思いを馳せ、伝承されてきた食文化を再確認し、ここ天龍村での取り組みやこれからの「柚餅子」を是非一緒に考えてみませんか。

2025/2/19 水

時間：10:00～13:00（受付開始9:30～）

会場：夢工房 左閑辺屋（天龍村神原2167-2）

参加費：1500円
（柚餅子や地元食材を使用したお弁当として）

定員：先着20名

予約・お問い合わせ：
天龍村役場地域振興課（☎0260-32-1023）

予約締切：2/12 水 までに

上記に電話予約をお願いいたします。
※当日龍泉閣より送迎いたします。【8:45発】



プログラム

10:00～ 開会

10:05～

【第一部】 調査研究報告

- ・柚餅子の歴史と特徴
- ・各地の調査報告
- ・天龍村での活動
- ・長野大学との連携活動

各地・
村内各家庭の
柚餅子試食も
あります

11:00～

【第二部】 座談会

「これからのゆべしの展望」

コーディネーター：太下義之氏（同志社大学教授）
パネリスト：村澤葉花氏（柚餅子生産者）
古田睦美氏（長野大学教授）
相川陽一氏（長野大学教授）
河鳶太郎氏（ジャーナリスト）
太田信吾氏（映画監督）
中浦政克氏

（株式会社柚餅子総本家中浦屋 代表取締役社長）

12:00～

【番外編】 記録映像の上映
昼食・懇談

主催：天龍村
協力：NPO法人ツメモガキ
夢工房 左閑辺屋

※写真はイメージです。

当日のシンポジウムの様子を LIVE配信予定



<https://youtube.com/live/qfcMEYt2HVc?feature=share>

第2部 座談会 登壇者紹介

コーディネーター



太下義之氏

文化政策研究者、同志社大学経済学部教授、博士（芸術学）。文化経済学会<日本>監事、文化政策学会理事、デジタルアーカイブ学会理事。2025年大阪万博アカデミック・アンバサダー、公益社団法人全国公立文化施設協会アドバイザー。静岡県文化政策審議会委員、アーツカウンシルしずおかカウンシルボード議長、愛知県県民文化局アドバイザー、鶴岡市食文化創造都市アドバイザー、など文化政策関連の委員を多数兼務。2023年、文化庁長官表彰。単著『アーツカウンシル』（水曜社）。

パネリスト



村澤葉花氏

NPO法人ツメモガキ

大学時代に天龍村に通い、その後地域おこし協力隊として移住。現在は4児の母。協力隊OBOGを中心に結成した「ツメモガキ」では柚餅子生産の中心を担う。また、地元食材や素材にこだわったお菓子やお弁当販売も行っている。



古田睦美氏

長野大学環境ツーリズム学部教授
東京都出身。エコフェミニスト。第一次長野県地産地消推進計画策定会議会長、農村女性生活マイスター認定会議議長、伝統野菜山口大根の会副会長。

農家がワンデーシェフとしてランチを提供する地産地消の発進拠点コラボ食堂、クラウドファンディングで特産物づくりなど食文化による地域振興で活躍中！



相川陽一氏

長野大学環境ツーリズム学部教授
山村の気候風土や暮らし方に合った持続可能な農業や地域のあり方について研究している。天龍村には2014年から通い、伝統文化、自給農業、UIターンなどのテーマで学生と調査を進めている。



河鳶太郎氏

ジャーナリスト

千葉県市川市出身。早稲田大学大学院政治学研究科卒業。「聖地巡礼」と呼ばれる、アニメなどメディアコンテンツを用いた地域振興事例の研究に携わる。



太田信吾氏

映画監督・TVディレクター
早稲田大学文学部卒業。

監督作に志賀直哉原作『城崎にて』（ゆうばり国際映画祭優秀芸術賞）『沼影市民プール』（カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭最優秀企画賞）などTVディレクターとしてMBS『情熱大陸』、WOWOW『フードトラックー 峯岸みなみ』など撮影・演出を担当。俳優としても、舞台や映像で活動中。



中浦政克氏

株式会社柚餅子総本家中浦屋
取締役社長

1910年の創業から、柚餅子などの和菓子をはじめ食品の製造販売を行っている。世界農業遺産である能登半島輪島に本社を置き、日本の歴史と伝統を大切にしながら新しい取り組みに挑戦し続ける会社を営む。